

2025

第15回 しまね自死遺族フォーラム in雲南

「^{いと}愛しい命～それぞれの語りから
『自死』についてみんなで考えよう」

日時 令和7年 3月1日(土)13:00～16:00
(受付 12:30～)

入場無料

どなたでも入場
できます

会場 木次経済文化会館
チェリヴァホール 3階大会議室

雲南市木次町里方55 (0854-42-1155)

プログラム

13:10～14:25 講演

『言葉の力で新たな世界 ～いのちの四季の物語～』

詩人:里 みちこ さん

プロフィール

筆文字の詩を読みながら自身の思いを語る、「詩がたり」という独自の講演を全国各地で行なっている。

45歳の時、京都花園大学福祉学部に入学生。3回生の時、阪神大震災のボランティア体験から生まれた「希望」の詩が新聞に取り上げられ詩人としての活動が始まる。53歳の時、奥出雲町で谷川俊太郎さんと対談、翌日八川小学校で一緒に授業も。58歳で三沢小学校の3年生クラスを1年間体験。自死遺族との出会いから、遺族たちへのメッセージを詩に表現し共感を得ている。

島根県飯南町(旧赤名)出身、大阪府在住、詩人・エッセイスト。



14:35～14:55 ミニコンサート ギター弾き語り:木下徹 さん

プロフィール

犯罪被害者家族全国大会や自死遺族フォーラムなどで、ギターの弾き語りを続けている。

山口県宇部市出身、大阪府豊中市在住、フォークシンガー。



15:00～15:30 体験発表:それぞれの立場から

15:30～15:55 会場との意見交換



体験発表と会場との意見交換(令和5年3月4日 安来市)

お問合せ先:しまね分かち合いの会・虹

E-Mail: kowataya898@hit-5.net

TEL: 090-4692-5960 (桑原)

しまね分かち合いの会・虹

検索



自死遺族からのメッセージ

「自死」は、学校・職場等でのいじめ、失業・倒産や借金・生活困窮、病気、育児・介護疲れ、社会的・精神的孤立などが複雑に関係し、心理的に「追い込まれた末の死」として認知されつつあります。

大切な家族を突然「自死」で失うと、想像を絶する衝撃を受け、年月の経過に関係なく深い悲しみと絶望感が押し寄せてきます。

また、「自死」への社会的偏見から、胸の内を打ち明けることができず、一人で抱えてしまうことが少なくありません。

そのような中、それぞれの語りから、「自死」について地域の皆様と共に考えていただく時間になることを願って、このフォーラムを開催します。

「自死問題を他人事と思わず、どうか一緒に向き合ってください！！」



駐車場：木次経済文化会館駐車場
マルシェリーズ立体駐車場（木次経済文化会館隣接）
（いずれも駐車無料 約300台）

交通アクセス：JR 木次線木次駅から徒歩で約1分
松江自動車道三刀屋木次ICから車で約5分

主催 ● 自死遺族自助グループしまね分かち合いの会・虹

共催 ● 雲南市

後援 ● 島根県、島根県雲南保健所、奥出雲町、飯南町、雲南市議会、雲南市教育委員会、奥出雲町教育委員会、飯南町教育委員会、社会福祉法人雲南市社会福祉協議会、社会福祉法人奥出雲町社会福祉協議会、社会福祉法人飯南町社会福祉協議会、島根県自死総合対策連絡協議会、島根いのちの電話、自死遺族支援弁護士団、山陰中央新報社、NHK 松江放送局、雲南夢ネット、奥出雲町情報通信協会

3月は自死対策強化月間です

—わたしたちのまさか—

自死遺族の想いを伝えるパネル展

入場無料

日時 令和7年 2月25^(火)日～3月6^(木)日
9:00～17:00
(25日(火)は12:00から) (6日(木)は16:00まで)

会場 雲南市役所 ロビー

雲南市木次町里方521-1 TEL 0854-40-1045

日時 令和7年 3月10^(月)日～3月21^(金)日
9:00～17:00
(10日(月)は12:00から) (21日(金)は16:00まで)
※20日(木)は祝日のためお休みです

会場 出雲市役所 東口ロビー

出雲市今市町70 TEL 0853-21-6976

日時 令和7年 3月26^(水)日～4月4^(金)日
9:00～17:00
(26日(水)は12:00から) (4日(金)は16:00まで)

会場 益田市役所 1F多目的スペース

益田市常盤町1-1 TEL 0856-31-0214



令和4年12月1日～8日(益田市人権センター)